

# 1

## これは chapter

### 1.1 これは section

我輩は猫である\*<sup>1</sup>。

どこで生れたかほとんど見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獰悪な種族であったそうだ。この書生というのは時々我々を捕えて煮て食うという話である。

Listing 1.1 C++ サンプルコード

```
1 #include <iostream>
2 using namespace std;
3 int main(){
4     std::cout << "Hello, world!" << std::endl;
5     return 0;
6 }
```

```
## ここにはコマンドを書く
$ echo "Hello, World!"
```

---

\*<sup>1</sup> こんな感じで脚注を書く

図表はキャプションを付けたときに、先頭に「▲」や「▼」を付けるようにした。

▼ 表 1.1 表のサンプル

日本	hoge	fuga	piyo
アメリカ	foo	bar	baz

これはコラム

コラムも随時挟めるようにした。

tcolorbox は title を指定するといい感じにタイトル付きの枠で囲ってくれる。

dsafdsaf